

業務部速報



No. 14

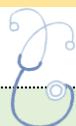
発行 21. 7. 16

JR東労組 業務部

申3号「安全で安心して働ける医療職場等の実現に向けた申し入れ」を本日提出!

健康経営宣言では「変革2027」に掲げた「私たちが目指す未来」を私たちの手で実現するためには、主役である社員一人ひとりの健康と活力が最も重要であり、健康経営を通じてすべてのヒトの心豊かな生活を実現することにより、日本の健康長寿社会をリードする企業グループを目指すかとされています。健康経営は中期的なビジョンをもって取り組むことが必要であり、今がその道半ばであると認識しています。

医療職場においては、新型コロナウイルス感染症の爆発的な流行とその対応など、企業立病院の役割を超えて、地域医療に貢献しています。しかし今後、人の往来が増えることが考えられる以上、感染への不安から逃れられることはなく、組織として感染防止のリスクマネジメントの徹底の必要性が増しています。そのような中でも、医療職場で働く組合員・社員は医療や看護の質を下げることなく、業務の確実な遂行と医療職場で働く社員の働きがい、より良質な医療や看護を提供するために、業務改善や職場環境改善を目指し奮闘しています。したがって、コロナ禍における医療職場のあり方や働き方などが変化する中、安全で安心して働ける職場とハラスメント等もなく、誰もが話しかけやすい・働きやすい風通しの良い職場環境とするために、下記のとおり申し入れました。



要求項目



1. DX(デジタルトランスフォーメーション)等の推進が目指されている中における医療分野の課題と、今後のJR病院の役割を明らかにすること。
2. 昨年3月にJR東京総合病院で発生した、クラスターの原因と対策について明らかにすること。
3. 感染委員会の対応における課題について明らかにすること。
4. 院内クラスターが発生した場合の医師・看護師・技師等の確保の考えについて明らかにすること。
5. 新型コロナウイルス感染症拡大地域への医師・看護師・技師等の出張について、基本的な考え方と今後の見通しについて明らかにすること。
6. 院内感染等により罹患した社員が、後遺症等により療養せざるを得ない場合は、引き続き勤務を「免除」として取り扱うこと。
7. ワクチン職域接種の実施状況と問題点を明らかにすること。また、今年度以降も継続する職域接種のスケジュールと体制等の考えについて明らかにすること。
8. 今後のワクチン接種に関して、医師・看護師・技師等の他医療機関等への出張の考えについて明らかにすること。
9. 院内感染防止のために、除菌を主とする医療補助者等の配置と洗面所に除菌スプレーやペーパータオルを設置すること。
10. 組合員の健康確保等の観点も踏まえ、夜勤後48時間のインターバルを取ること。また、夜間勤務が可能な補助スタッフを増配置すること。
11. JR東京総合病院、JR東日本健康推進センター、各支社鉄道検診センターにフレックスタイム制勤務を導入する根拠を明らかにすること。
12. 今後、電子カルテ更新については、現場社員の意見が反映できるようにすること。



安全・健康・ゆとり・働きがいを持てる医療職場をつくるため、共に議論しよう!